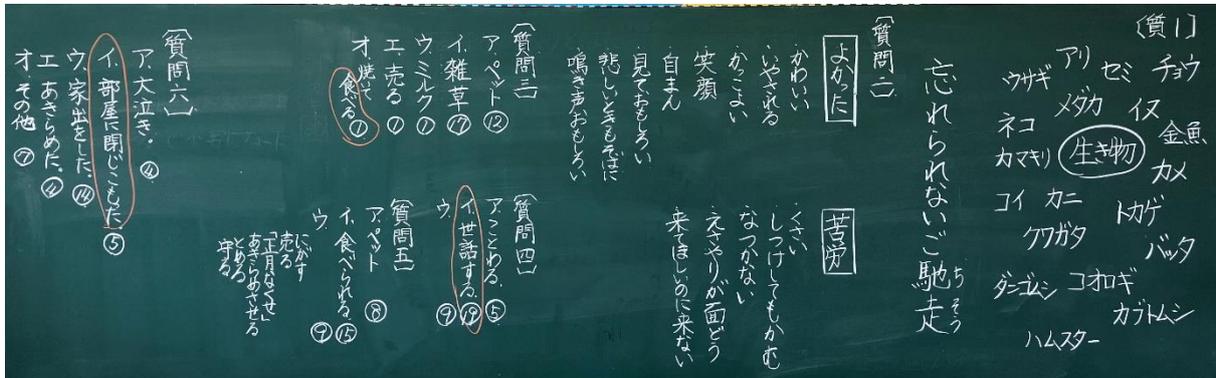




今号では、6年生の参観授業の様子を紹介させていただきます。

6-1 「忘れられないご馳走」



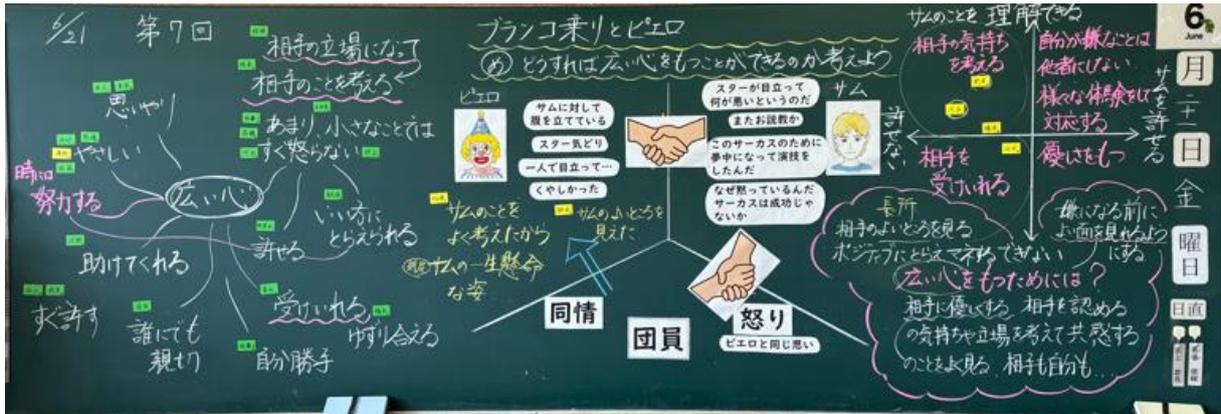
- 子供たちもパックに入ったお肉やお魚を見ても、生きていた姿を想像することはほぼないと思います。目の前にあることについて、見えないところまで考えるきっかけになる話と思いました。また、それができれば周りのお友達の気持ちにも気づきやすくなると思いました。
- 高学年らしい意見があって感心しました。肉や魚などの生き物を食べる時に、いろいろ考えながら食べてくれたらいいなと思います。
- 子供たちの発言の多さに驚きました。皆がのびのびと自由に発言できているのがとてもよかったと思います。

6-2 「自由な公園」



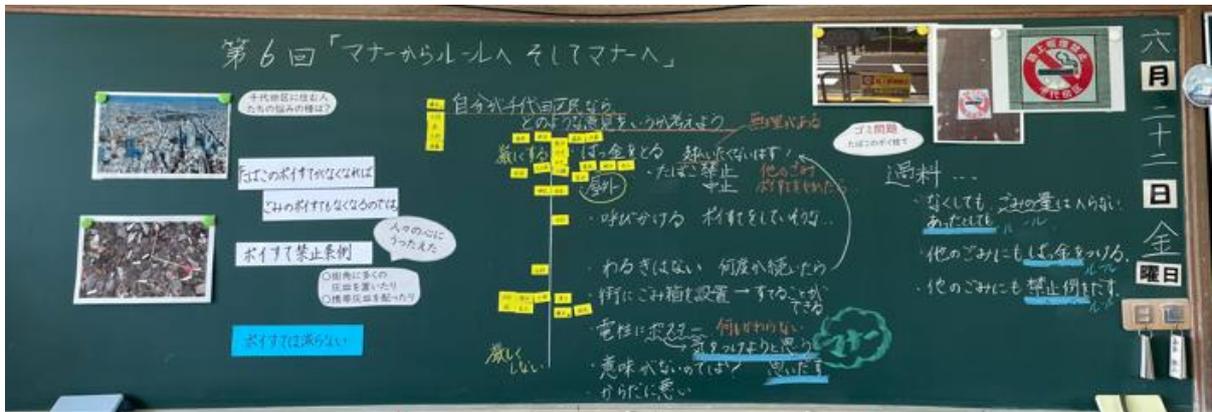
- 自分ひとりの「自由」を主張し、自分以外が我慢をする、痛い思いをすることに対しては、子どもは「なんとなく違うな」と感じていると感じます。子どもたちがこれからたくさん経験をし、知識をつけていく中で「道徳」の授業の中で具体的に、継続的に心と考える力を育てていくことを期待しています。
- 最近は何でもすぐ「良い」「悪い」を決めてしまう傾向にある世の中だと思います。まずはそれが本当に良いことかいろんな目線で考えてみるのが大事なのだと思います。
- グループで意見を言っている子も聞いている子も相手をしっかりと見て話しており、人に意見を伝える、相手の話を聞くができているなと感じました。

6-3 「プランコ乗りとピエロ」



- 相手の悪い部分だけでなく、良い所も見つけて認め合える関係。「広い心をもつ」ということは、子供たちがこれから長い人生を生き抜くためにとても大切なことだと思います。娘にも広い心を持ち、たくさんの友達と出会い、絆を深め、豊かな人生を送ってほしいと思いました。
- 自分と他者の違いを認め受け入れる、お互いを尊重するという人間関係においての大切なテーマの授業であったと思います。自分自身の考えや視野を広げ、様々な人たちと関わってってもらえたら良いと思いました。
- 子供が意見を出しやすい雰囲気の授業でした。緊張し過ぎたり、ふざけすぎたりすることなく、丁度いい様子で意見を引き出せていると思いました。

6-4 「マナーからルールへ、そしてマナーへ」



- 普段から「マナーを守って」「ルールに従って」と、子供達に話してはいて、私自身もなんとなく使いわけていたけれど、改めて説明するという事になると難しいなと思いました。生活をしていくうえで、マナー、ルールはとても大切な事なので、また時間がある時にゆっくり子供達と話してみたいと思いました。
- 「ルール」と「マナー」の違いとは何か、最後まで子供達が自分達で考えて答えを見つけていくという授業の進め方が、とても興味深く「6年生らしいな」と感じながら参観させていただきました。子供らしい考えや意見があったり、大人の私達も驚かせるような案が出たり、面白かったです。
- 「マナー」と「ルール」なんとなく分かっていても言葉で説明するのは難しいですね。多くの子が「守るべきこと」と話していましたが、そのように思っても深く考えていくと違うことが分かってきました。振り返り、1つずつ深く考えることも時には必要なと考えさせられました。